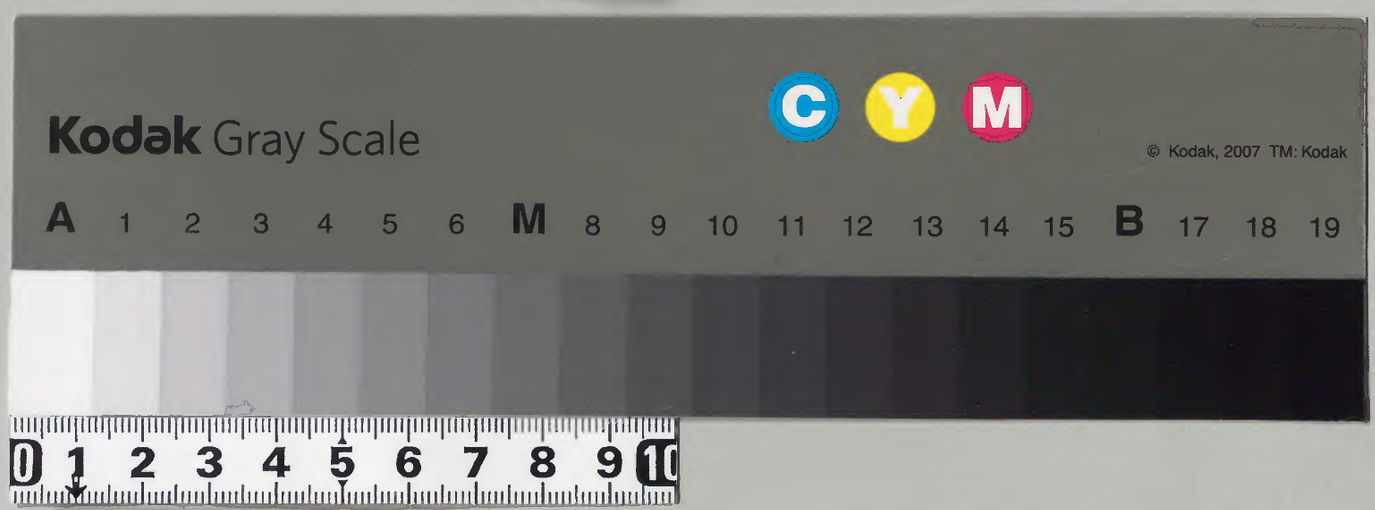
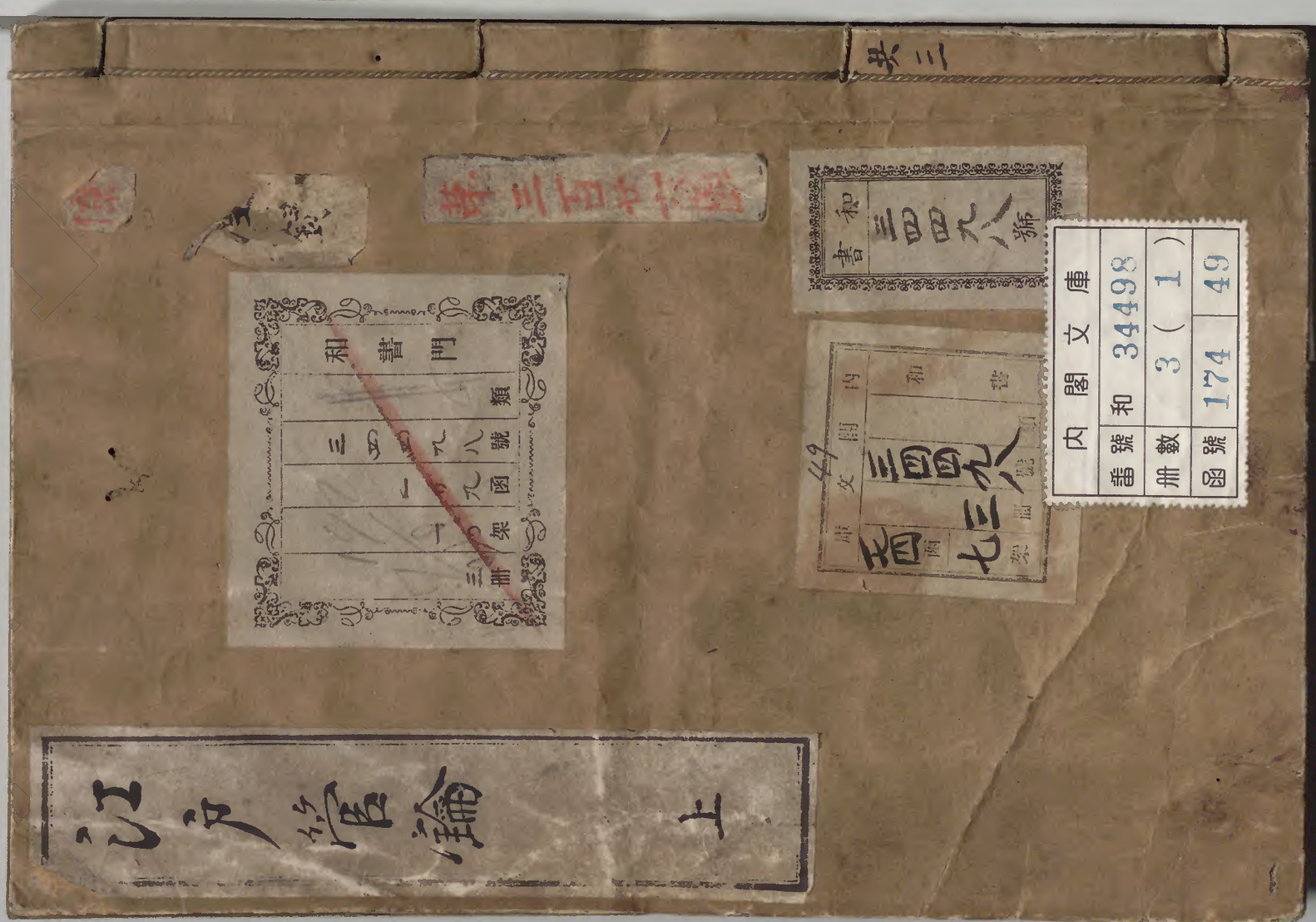
x-rite
colorchecker
x-rite


Kodak Gray Scale
© Kodak, 2007 TM: Kodak
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19


和書門
類
號
函
架
冊
内閣文庫
番號 和 34498
冊數 3 (1)
函號 174 49
訂正英語論 上

一 官論秘密物與取扱の事

一 町人百姓等訴訟の事

一 芝車附牛町人乗の事

一 牛と牧牛馳候の事

一 遠島の者二十三間堂預の事

一 深川二十三間堂捨薬

一 乞食久離の事

上之巻

日本政府図書

国立公文書館
National Archives of Japan

一 同 与御領海防之事

一 同 大小之法度発令之事

一 本石町時之鐘建立之事

一 京三条石垣普請之事

一 禁中下撰要記之事

一 明石御家之事

一 禁裏 御所 女房衆 法度之事

一 同 森田勘助法度之事

一 同 いま之法度書改之事

一 御庭田嘉栄記本実録之事

一 慶長年中於西尾簽判之事

一 青楼一所ニ成候儀御免之事

一 庭田嘉栄記録書改之事

一
一
一

一 右郷名前之内町方之事
一 在宅寄屋之事
一 兼帯 町法事神事之事
一 日 掛り役儀之事
一 日 宅地改帳之事
一 日 両年大小之百姓石数并名前之事
一 日 因人を以願之事
一 日 常力米麦并金銀出入之事

一 日 在宅寄屋之事
一 日 常力非儀之事
一 日 常力病気之事
一 日 在郷寄屋掛り勤方之事
一 兼帯 寺法事神事之事
一 寄屋取扱方因人御追放之事

一　宇問之儀有之節書記之事

一　宇治之儀ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　海之國人持渡候方之儀ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　車着之節乗加候方之儀ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　米并諸色賣買之儀ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　海邊之地面ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　海邊之國人持渡候方之儀ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　米并七ツ物ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　車野卅俵ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　男女共ニ奉公人ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　逃人預ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一　同人抱置候方之儀ニ付而ハ諸方ニ而取扱之儀有之節書記之事

一 濱名湊長崎山論之事
一 頼朝公御判物の事
一 勝書 御下文箱根権現之事
一 関東御下文 深大寺領近江国之事
一 前下野国村岡之事
一 御下文 相模国飯山之事
一 源氏重代御腰刀之事
一 源氏重代御鎧 通之事

一 従是者一巻源氏重代御腰刀之事
一 御下文 伊豆国長倉之事
一 源氏重代御鎧 通之事
一 頼朝公御手紙 数通之事
一 源氏重代御鎧 源太産衣之事
一 源氏重代御鎧 薄金

一 没収ノ事
一 囚獄ノ理体ノ事
一 青山ノ病院ノ事
一 同人ヲ兎角ノ事ヲ名目ノ事
一 高良ヲ命ノ事
一 漢学ノ事
一 日蓮上人ノ事
一 御上洛ノ事

一 特赦ノ事
一 御没収ノ事
一 高良ノ事
一 極楽寺ノ事
一 小石川養生所ノ事
一 御小門ノ事
一 医学館ノ事
一 医師免状ノ事
一 武家ノ事

一 人名等之儀ニ付伺之事

一 神社神官等之儀ニ付伺之事

一 指扇領之儀ニ付伺之事

一 水帳并差出帳之儀ニ付伺之事

一 御料所之儀ニ付伺之事

一 指扇領之儀ニ付伺之事

一 高野村之儀ニ付伺之事

一 水帳并御料所之儀ニ付伺之事

一 第二川先陳之事

一 地割役配置之儀ニ付伺之事

一 本栗高并代官之儀ニ付伺之事

一 人名等之儀ニ付伺之事

一 神社神官等之儀ニ付伺之事

一 指扇領之儀ニ付伺之事

一 水帳并差出帳之儀ニ付伺之事

一 御料所之儀ニ付伺之事

一 指扇領之儀ニ付伺之事

一 高野村之儀ニ付伺之事

一 水帳并御料所之儀ニ付伺之事

一 第二川先陳之事

一 地割役配置之儀ニ付伺之事

一 本栗高并代官之儀ニ付伺之事

日本永禄年中町人物語別紙之事

一

京都永禄年中町人物語之事

一

江戸寛濶秘録物語別紙

町人物語之事

一

天地開闢より以後天下を治給ふ事

神代今に至るまで国郡の境目なき事

一

必ず一国を領し給ふ輩は、

国家治乱興廃の事を記し

免許状事

町人猥ケ間敷儀無之様ニ可被申渡候

一諸国ニ而新規ニ町人ニ被召抱候儀ハ勿論ニ候得共
　御家中ニ而も新規ニ町人ニ被召抱候儀ハ
　御停止ニ可被仰付

一

右同年同月清持人ゟ町人ゟ差
添差出候節ハ御法神ニ着ケ可申候
尤通ゟ者共ゟ文言ニ而ハ不苦候
町年寄ゟハ惣而人ゟ清正候ニ指置
候者ゟ七ゟ指支申候ニ付義ハ
和二年 寅二月清持人の町人所年寄ゟ
ゟ指支候ニ付今ゟ通ゟ清正候
事

享保元年

六月廿日 大岩義右衛門

芝車町同年町ゟ事

一

年ゟ取年ゟ儀ゟ事

享保六年丑七月廿日清持人ゟ
町江差出候中山勘解由ゟ家来町
年町の義ニ付ゟ書面ニ指支ニ付ゟ
書之通ニ而ゟ遣ゟ候ゟ
覚

国立公文書館
National Archives of Japan

一 白銀弐枚
一 日々弐枚
一 当用雑費文
一 日雇賃文
右之通、当秋冬両度ニ而
一 当用雑費文
一 日雇賃文
一 日雇賃文

書銀
筆墨紙
油煙紙
塩鉄
板銭
筆墨紙
札銭

右之通、堂宗旨之古寺方々江当秋冬両度ニ而
守ニ附之有之候ニ付、遠寄ニ而
ざるもの

右之通、御奉行所ニ而海辺遠寄ニ而有之
年号月日

右御定目御辺大陽ニ而
寛文十年戌極月廿八日頃戴仕
先年ニ而御渡候分

国立公文書館
National Archives of Japan

一　神尾備前守指右京亮将監保清附属三年
　　両人共ニ為御後料ニ銀子百目宛被遣之
一　渡辺大隅守綱保同断寛永十年
　　成人ニ付而為御後料ニ金子百両被遣之
一　酒井雅楽頭忠世病中ニ付而為御後料ニ
　　甲斐百弐拾石被遣之　延宝八年
　　十二月九日
一　本多能登守康俊後料ニ金子百両被遣之
　　寛永十一年
一　少栗飛騨守重勝後料ニ銀子百枚被遣之
　　三年宮ニ月酒井雅楽頭忠世病中ニ付而
　　為御後料ニ金子百両被遣之　寛永十年
　　九月十日
一　本多能登守康俊後料ニ金子百両被遣之
　　元禄十年宮九月朔日
一　本多豊後守康恒後料ニ金子百両被遣之
　　寛永十

一 元禄拾弐年分
拝領仕
一 清水甲斐守様御代官所
合弐ヶ所 頂戴仕
一 金弐両
一 金七両
一 金弐両
一 金弐両

（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）
（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）
（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）
（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）

一 金弐両
一 金七両
一 金弐両
一 金弐両

（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）
（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）
（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）
（但し金弐両ニ付九百弐拾文ニ換算）

右之通り
御領知仕候
以上

己十月廿五日石谷備後守殿被仰渡候趣
一
元禄十六年未十月廿二日夜大地震ニ而堂社
損候ニ付別紙御申上之通被仰渡候ニ付
宝永七年七月十日松平伯耆守殿へ御渡被成
候御書付ニ申渡候趣左ニ記之
一
一、西浦二年己十月廿二日大地震ニ而堂
社破損候ニ付相応ニ修復被仰付候
内証ニ而御作事奉行上野介殿
中山内匠頭へ江戸御先手弓
御公儀御作事方之七百二拾四軒ニ而
候不申候ニ付一作減ル
一
今度之儀先例ニ通リ別会之以御客御
方ニ而ハ御会頭義仕正徳六年四月之通
当座ニ而義出来仕ル
御会ニ而ハ三ツ重ニ而御肴出ル
右之通ニ而御座候御会之

文永十年己酉七月

東寺前時之儀由来

并両方先規之事

文永十年庚戌三月廿日御教書之例ニ任而

弁申候東寺前時儀并淀津七ヶ所

中津等之儀ハ

書上之通ニ候

東寺前三ヶ月時之儀并淀津七ヶ所

中津等之儀ハ

弁申候東寺前時儀并淀津七ヶ所

中津等之儀ハ

書上之通ニ候

一

一

一

一

川通り小六半伝源寺通り東は天神
表通り二町目通り北は源川元堀西は
深川海辺新田通り南は源川永代橋
方并町方大小寺社地永代橋詰より
三度完年三月迄夜廻急ぎ勤申
附候堂前海辺新田通り永代橋北通り
表口并別表口町並京間八百畳敷
九百枚敷候海辺新田之内人居宅仕

右之通下谷御徒町与申所ニ
桑名町会所仕候ニ付而ハ
右之場所ニ而ハ遠ク御座候

文化十年巳六月

町年寄　樽屋藤左衛門
同断　奈良屋市右衛門
町役人　喜多村彦右衛門
同断　長谷川平蔵

右之通下谷御徒町与申所ニ桑名町会所仕候ニ付而ハ右之場所ニ而ハ遠ク御座候ニ付而ハ

石川家譜 巻

猶若干仕法金御渡被成下候ニ付
中名主並百姓代共一同歎願ニ付
金拾五両ツヽ御渡被成下候ニ付
仕方小出帳へ記置之
可申候
指引差引残八百四拾二両ニ付
卯年ゟ向ル十七年賦ニ而
元利共ニ皆済仕候

二代目 惟明 勘三郎

卯年ゟ向ル十七年賦ニ而
元利共ニ皆済仕候

三代目 惟孝 勘三郎

右之通新知ゟ大破并
猶若干仕法金御渡被成下候ニ付
中名主並百姓代共一同歎願ニ付
金拾五両ツヽ御渡被成下候ニ付
仕方小出帳へ記置之
可申候
指引差引残八百四拾二両ニ付
卯年ゟ向ル十七年賦ニ而
元利共ニ皆済仕候

二代目 惟明 勘三郎

卯年ゟ向ル十七年賦ニ而
元利共ニ皆済仕候

三代目 惟孝 勘三郎

右之通新知ゟ大破并

布を処定六年分と元年より七ヶ年の月
年数を勤務仕候て申村儀九命ニ
御届
御免
願之通元年より七ヶ年の月
年数を勤務仕候ニ付十八ヶ年の月
御免
高梯
御命
元禄十四年より元文元年迄廿七ヶ年の月
元祖勤ニ而元文元年より元文四年迄四ヶ年の月
御命
御命
御命

一

一 大醫院様 當春院掛中代無之候 當御公
[illegible]
[illegible]

一

一 寄當教之兵根之村山文之亟 當年家督相
[illegible]
[illegible]
[illegible]

九帝為僧ニ成ン為仕官ニ致動揺ヲ
お憚りの旨ニ付御免被
成候ハヽ右ニ御
申上候通ニ
御代々坂東ニ
御住居被
遊候様ニ
被
仰付候事

辛未年七月

寺社奉行

又九郎

寺社奉行ニ
申渡ス事

動揺

歩行御
用長重義
為御名代
差出候事
并ニ
御名代ニ
差出候ハヽ
御名代ニ
差出候ハヽ
御名代ニ
差出候ハヽ

右之通り少佐等ニ於テ神田明神社地ニ
久シ前ヨリ新タニ小学校ヲ建設シ度旨
引続キ御願ヲ以テ小学校建設ノ儀ハ
上ノ如ク許可相成候ニ付テハ右ニ要スル
地所ハ仮ニ神田区ニ於テ御用地ト
御定相成候ニ付テハ右ニ要スル地所ハ
其儘仕置候様致度此段
御届申上候也

明治二十四年五月

神田区長

伊丹

右之通り少佐等ニ於テ神田明神社地ニ
久シ前ヨリ新タニ小学校ヲ建設シ度旨
引続キ御願ヲ以テ小学校建設ノ儀ハ
上ノ如ク許可相成候ニ付テハ右ニ要スル
地所ハ仮ニ神田区ニ於テ御用地ト
御定相成候ニ付テハ右ニ要スル地所ハ
其儘仕置候様致度此段
御届申上候也

明治二十四年五月

神田区長

伊丹

いかゝ（仰）ニ付右之
半年程心配まて
御全快ニ
四月廿九日
十月十九日
右之通御
御届ニ
中山雲
高橋茂

国立公文書館
National Archives of Japan

三ヶ条ニ覚え

一

一 御領分御神事ニ着小浦ゟ浦方江
　　出銀之儀
一 御領分ニ而御仕置被仰付候節
　　御検使ニ付
　　御出之節
一 御領分ニ而御仕置被仰付候節
　　御検使ニ付
　　御出之節
一 御領分御神事ニ着小浦ゟ浦方江
　　出銀之儀
一 御領分ニ而御仕置被仰付候節
　　御検使ニ付
　　御出之節
右之通ニ候ニ付而ハ
　　御領分中
　　御仕置被仰付候節
　　御検使ニ付
　　御出之節
　　御領分御神事ニ着小浦ゟ浦方江
　　出銀之儀

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右御朱印之写相添 御勘定所へ差出候様 御老中より御切紙を以被仰渡候ニ付 御勘定所より御代官江相廻候写

一

一昨寅年甲斐国巨摩郡之内 御料所村々年貢之儀 従前々之通 金納ニ而可相納旨 御勘定所より申渡候ニ付 御代官より申聞候趣 村々百姓共承知仕候 依之 御朱印之写 御勘定所へ差出候様 御老中より御切紙を以被仰渡候ニ付 御勘定所より御代官江相廻候写

一

一昨寅年甲斐国巨摩郡之内 御料所村々年貢之儀 従前々之通 金納ニ而可相納旨 御勘定所より申渡候ニ付 御代官より申聞候趣 村々百姓共承知仕候 依之 御朱印之写 御勘定所へ差出候様 御老中より御切紙を以被仰渡候ニ付 御勘定所より御代官江相廻候写

一

一昨寅年甲斐国巨摩郡之内 御料所村々年貢之儀 従前々之通 金納ニ而可相納旨 御勘定所より申渡候ニ付 御代官より申聞候趣 村々百姓共承知仕候 依之 御朱印之写 御勘定所へ差出候様 御老中より御切紙を以被仰渡候ニ付 御勘定所より御代官江相廻候写

一

一昨寅年甲斐国巨摩郡之内 御料所村々年貢之儀 従前々之通 金納ニ而可相納旨 御勘定所より申渡候ニ付 御代官より申聞候趣 村々百姓共承知仕候 依之 御朱印之写 御勘定所へ差出候様 御老中より御切紙を以被仰渡候ニ付 御勘定所より御代官江相廻候写

町…

一 …

一 …

一 …

一 …

一 …

一 …

一 …

一 …

一 …

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

右境町ヨリ新吉原（川越宿）
中沼町迄一円名主町（大宮宿）
為し候を切新町ヨリ鴻巣
宿ヲ経て熊谷宿ニ至ル
迄継立ニ差支候ニ付
当宿ヲ以新吉原ニ
振替候ニ付七年余ノ間
右ニ新宿ヲ設ケ右ニ
右伝馬町ヨリ境町ヲ経テ
当宿ヲ以テ名主ヲ
年寄ニ至ル迄ハ
新宿ヨリ古郷ニ
一
之吉原ニ
新吉原（川越宿）
ヨリ後元禄七年

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一　醫師ヲ以テ看病セシメ候ニ付テハ
　　旅費ヲ以テ何ヲ問ハス〻〻ニ候事トスルノ
　　月日
　　　　參議兼内務卿
　　　　大隈重信
　　　　參議兼内務卿
　　　　伊藤博文
　　　　參議兼内務卿
　　　　山縣有朋

一　假病ニ託シ旅行ヲ願ヒ出テ
　　十二月末日迄ニ出京ノ上出勤ノ
　　初ヨリ滿五日ヲ經ル
　　　　參議兼内務卿
　　　　大隈重信
　　　　參議兼内務卿
　　　　伊藤博文
　　　　參議兼内務卿
　　　　山縣有朋

一　今井北葛城民會議長
　　上柳十二等屬
　　　　内務卿
　　　　大久保利通

一　清水村戸長
　　風祭小村戸長
　　　　内務卿
　　　　大久保利通

一　右清水村外壹村ノ戸長ヲ第二年四月七日
　　滿期ニ付テハ
　　　　内務卿
　　　　大久保利通

日葡條約取交ノ事ニ付テハ
三月廿日ノ御沙汰之通
相心得可申候尤之事
文久二年壬戌閏八月廿日
日葡條約取交ノ事ニ付テハ
三月廿日ノ御沙汰之通
相心得可申候尤之事
文久二年壬戌閏八月廿日

文久二年壬戌年

寛永十年巳七月　各自又為

新吉原町

庄内又兵衛

玉屋藤十郎

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan